

事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当期における我が国経済は、新型コロナウイルスの位置付け変更に伴う経済活動の正常化以降、日経平均株価はバブル期以来の最高値を更新し、賃上げの流れ等もあり前向きな動きがみられています。一方、物価高、円安が続き、内需は力強さを欠いています。

こうした状況の下、当社が指定管理者業務を担うグループふじとう（高蔵寺まなびと交流センター）においては、各種イベントを通常通り開催出来る様になり、当期の施設利用者数は開所以来、初めて50万人を突破しました。

指定管理者業務に於いては、指定管理料の増加、経費削減等により増収増益となりましたが、受託事業に於いては、業務受託料の減少等により減収減益となりました。

新規事業にも積極的に取り組み、シェアパーキング事業やUR賃貸住宅への入居者紹介事業など、新たな事業を立ち上げております。

中古住宅流通促進事業では、空き家ストックの賃貸化事業を実施し、エリアマネジメントにおいては、高蔵寺駅周辺の公共施設管理及び公有地の有効活用や地域ニーズの発掘を目的としたイベントの開催に取り組んでまいりました。

以上の結果、当期の売上高は227,810千円（対前期比15,165千円減）、売上総利益は147,520千円（同50,526千円増）、営業利益は14,956千円（同6,104千円増）、経常利益は14,996千円（同6,165千円増）、当期純利益は9,106千円（同2,758千円増）となりました。

(2) 設備投資の状況

当期に実施した設備投資の総額は16,944千円であり、その主要なものは、土地14,995千円であります。

(3) 資金調達の状況

当期に実施した資金調達の総額は10,000千円であり、銀行借入により調達しております。

(4) 対処すべき課題

当期もグループふじとう等の指定管理者業務に加え、積極的に新規事業などにも取り組み、収益を計上することができました。次期以降は、エリアマネジメント事業と自主事業の充実、拡大を図り、まちの課題解決と収益力強化の両立を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

(5) 財産及び損益の状況

区 分	第4期 (R2. 4～R3. 3)	第5期 (R3. 4～R4. 3)	第6期 (R4. 4～R5. 3)	第7期 (R5. 4～R6. 3)
売 上 高 (千円)	198,519	215,137	242,975	227,810
経 常 利 益 (千円)	8,810	6,100	8,831	14,996
当期純利益 (千円)	6,366	5,762	6,348	9,106
1株当たり 当期純利益	15,916円05銭	14,405円29銭	15,871円03銭	22,766円21銭
総 資 産 (千円)	64,822	99,249	97,861	115,298
純 資 産 (千円)	42,895	48,657	55,006	64,112

(6) 主要な事業内容

- ① 指定管理者事業
- ② 住宅流通促進事業
- ③ 受託事業
- ④ エリアマネジメント事業
- ⑤ 自主事業

(7) 従業員の状況

従 業 員 数	前期末比増減
10名	+2名

(注) 上記従業員数には出向社員1名を含みます。

(8) 主要な借入先

借入先名	借入金期末残高
株式会社大垣共立銀行	11,556千円

2. 会社の株式に関する事項

(1) 発行可能株式総数 8,000 株

(2) 発行済株式の総数 400 株

(3) 当事業年度末の株主数 10 名

(4) 主な株主の状況

株主名	持株数	持株比率
春日井市	株 201	% 50.2
春日井商工会議所	89	22.2
株式会社大垣共立銀行	20	5.0
その他 90 株		

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役の状況

氏名	地位	重要な兼職の状況
加藤達也	代表取締役社長	春日井市 副市長
前川 広	常務取締役	
高柳 通	取締役	春日井商工会議所 副会頭
小野沢透	取締役	株式会社URリンケージ 顧問
林 敬治	監査役	株式会社大垣共立銀行 常務取締役

貸借対照表

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	89,566	流動負債	40,189
現金及び預金	63,116	買掛金	6,401
売掛金	25,803	短期借入金	1,381
仕掛品	299	未払金	818
前払費用	288	未払費用	11,514
立替金	30	未払法人税等	4,648
未収入金	28	未払消費税等	6,961
		賞与引当金	5,533
固定資産	25,732	前受金	994
有形固定資産	25,587	預り金	1,935
建物	866		
建物附属設備	791	固定負債	10,996
構築物	6,219	長期借入金	10,175
工具器具備品	2,715	預り保証金	821
土地	14,995		
投資その他の資産	144	負債合計	51,185
長期前払費用	144		
		【純資産の部】	
		資本金	20,000
		利益剰余金	44,112
		繰越利益剰余金	44,112
		株主資本合計	64,112
		純資産合計	64,112
資産合計	115,298	負債・純資産合計	115,298

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

〔 令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月31日まで 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		227,810
売 上 原 価		80,289
売上総利益		147,520
販売費及び一般管理費		132,564
営業利益		14,956
営業外収益		
受取利息	0	
雑収入	76	77
営業外費用		
支払利息	37	37
経常利益		14,996
税引前当期純利益		14,996
法人税、住民税及び事業税		5,889
当期純利益		9,106

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(令和 5 年 4 月 1 日 から 令和 6 年 3 月 31 日 まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合 計	
		その他利益 剰 余 金	利 益 剰余金 合 計		
		繰越利益 剰 余 金			
当期首残高	20,000	35,006	35,006	55,006	55,006
当期変動額					
当期純利益		9,106	9,106	9,106	9,106
当期変動額合計		9,106	9,106	9,106	9,106
当期末残高	20,000	44,112	44,112	64,112	64,112

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定額法を採用しております。

② 無形固定資産

定額法を採用しております。

(2) 消費税等の会計処理

税抜方式を採用しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度の末日における発行済株式の総数 400 株

監 査 報 告 書

第7期事業年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他取締役の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和6年5月22日

高蔵寺まちづくり株式会社

監 査 役 林 敬 治 ㊞

以 上